



新春対談

おおさき宝大使の水森かおりさんをゲストに迎え、歌を通してつながった大崎市との縁について、伊藤市長と語っていただきました。



ご当地ソング「鳴子峡」でつながった縁

市長 あけましておめでとうございます。昨年は、1月に発売された「鳴子峡」が縁となり、「おおさき宝大使」として、歌を通して全国に大崎市を発信していただきました。「鳴子峡」は大崎市民の応援歌となりました。

水森 そのように言っていたら、本当によろしいです。

市長 昨年の4月4日に、本市の東北デスティネーションキャンペーンセレモニーで「鳴子峡」を披露していただき、予定でしたが、コロナ禍で中止となってしまいました。地元での披露ができず残念でしたが、令和2年12月に鳴子峡と鬼首にお越しいただいたそうです。

水森 ミュージックビデオの撮影で訪れたのですが、鳴子峡は紅葉が終わり一面雪景色でした。

市長 本市でも特に雪深い地域で、前日に雪が降りましたので、大変な撮影になったこと



とと思います。

水森 皆さんに雪かきをして道を作っていただき、大変ありがたく感じましたし、とてもうれしかったです。温かい思い出となっています。

市長 4月28日のおおさき宝大使委嘱状交付式に訪れていただいたことや、11月3日の、大崎市誕生15周年記念式典でのミニコンサートで「鳴子峡」を歌っていただくことができ、市民との交流が実現できたことはうれしい限りです。

水森 前作の「瀬戸内小豆島」の撮影では、コロナ禍のため地元の皆さんとの交流が叶いませんでしたが、大崎市では、市民皆さんとの交流で温かい対応を受け、式典では大変素晴らしい舞台上に立たせていただいたと思っています。

コロナ禍で情報を発信する

市長 昨年は、1年延期されていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、無観客で開催されました。本市の夏祭りなど各イベントは、中止や縮小して開催、またはオンラインという新しい形での開催となりました。仕事の面でも、在宅ワークやウェブ会議、ウェブ研修など、大きな変化があった一年だと思っています。

音楽や演劇といったエンターテインメントも昨年は大きく変わりましたね。

水森 当初は、SNSなどで発信をしていくうえで、一方通行になってしまうのではな



You Tube を開設した

ことを喜んでいただいたり、ファンの皆さんからのコメントなどたくさんの方の反響があり、このような方法での活動も有効であったと感じています。

コロナ禍で、移動ができな

これまでの歩みと新しい年への出発

市長 本市は合併により誕生し、昨年の3月31日に15周年を迎えました。東日本大震災や令和元年東日本台風など、数々の災害からの復旧・復興、さらに大崎市発展の基礎、基盤をつくる15年となりました。

水森さんは、さまざまな土地を舞台にした曲が多く、ご当地ソングの女王として知られていますね。

水森 私は東京都出身で、ふるさとという感じがなくないですね。以前は、ふるさとから上京している皆さんを見てみると、自分にはハングリーさが足りないと思うこともあったのですが、毎年、さまざまな土地を舞台にした曲を歌うこ

とによって、その土地の皆さんと交流することができ

で、第二のふるさとと思

市長 令和5年の供用開始を

目指し、本丸築城である市役

所本庁舎の建設工事も始ま

これからの大崎市は、まち

づくりの指針となる総合計画

や産業振興計画、地方創生総合戦略などを、市民と協働で策定し実践します。大崎市の5年、10年先の姿を見極め、その実現に向けた取り組みをしていきます。

水森

実は、あと二年でデビューから30年を迎えます。気が付けば30年が経つんだなという感じですね。30年に向けて、良い一年につなげていきたいと思っています。基本を変えずに、地に足をつけて。そして、これまでどおり「かおりちゃん」と呼ばれ皆さんに親しまれたいですね。NHK紅白歌合戦についても毎年目標にしていますので、20年、30年とこの先



水森 かおりさん

平成7年「おしろい花」でデビュー。平成15年「鳥取砂丘」は、「第45回日本レコード大賞金賞」「第36回日本有線音楽優秀賞」など数々の賞を受賞。ご当地ソングの女王と知られ、NHK紅白歌合戦に19年連続で出場している。

令和3年1月19日に「鳴子峡」を発売。令和2年12月には、鳴子峡とホテルオニコウベで、プロモーションビデオ撮影を行っている。